

## 「バイオリード機能の強化と Life Cycle Management の展開」

アステラス富山株式会社 業務企画部  
部長 清水 隆司

アステラス富山株式会社は、2003年10月に藤沢薬品工業株式会社から会社分割により、富山フジサワ株式会社として設立されました。その後、2005年10月に社名をアステラス富山株式会社に変更し現在に至っています。

(2005年4月に藤沢薬品工業株式会社と山之内製薬株式会社が合併しアステラス製薬株式会社が誕生)

アステラス富山はアステラスグループの国内中核医薬品製造会社として、免疫抑制剤「プログラフ」、アトピー性皮膚炎治療剤「プロトピック」、キャンディン系抗真菌剤「ファンガード」「マイカミン」、経口用セフェム系抗生物質「セフゾン」などを製造し、国内市場のみならず広く世界に供給しています。

アステラス富山は、これらのグローバル製品の安定生産・供給を担ってきておりますが、製品のLife Cycleにより、主要国での特許切れを今後向かえていくことになります。

特許が切れるということは、安価なジェネリック製品が市場に出回るということになりますので、物量、売上げについては急カーブを描いて減少していくことになります。

新薬開発型医薬品メーカーの戦略としては、次期新製品の市場投入により売上げの落ち込みをカバーしていくわけですが、新薬開発の難しさ・グローバルな市場競争の激化もあり、新製品の投入も計画通りには進まないのが現実です。

アステラス富山としては継続的発展を目指して、グローバル戦略製品で培ってきた高い生産技術を発揮し、バイオリード機能強化を核とした「アステラス富山」の目指す姿を Management Goalとして中期戦略に掲げています。

アステラス製薬各研究所との技術連携により、バイオ医薬品等を核に治験薬製造から初期生産までの機能を担うバイオ・リード機能を強化していきます。

今回は、既存製品のLife Cycle Managementの展開と、弊社が今後取り組んでいくバイオリード機能強化の考え方について紹介させていただきます。

## 略 歴

清水 隆司

昭和56年	富山大学理学部化学科卒業
昭和56年	藤沢薬品工業株式会社 入社
平成10年	藤沢薬品工業株式会社 品質保証部課長
平成14年	藤沢薬品工業株式会社 高岡工場製造部長
平成18年	アステラス富山株式会社 業務企画部長（現職）